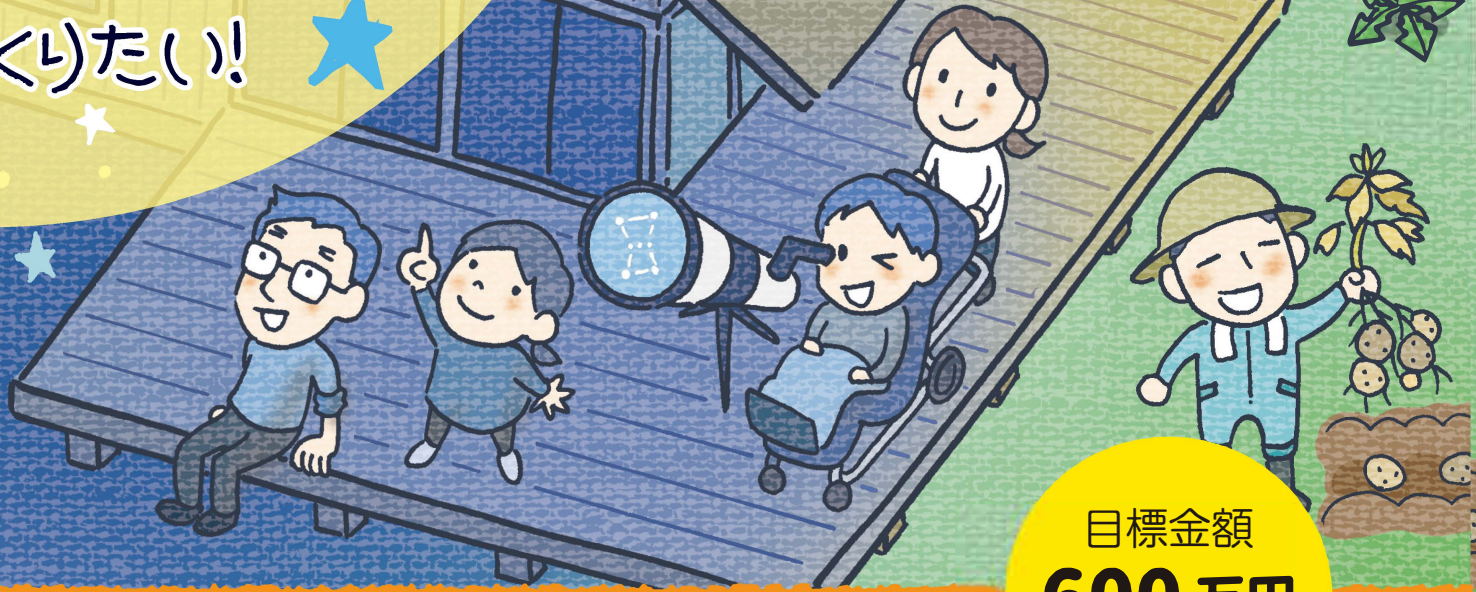


誰もが安心して
満天の星に
出会える場所を
つくりたい!



目標金額
600万円
🎁

★ハケ岳山麓に「星つむぐ家」を建設します★

クラウドファンディング挑戦中!

★**7/7(金)~8/22(火)**★
七夕! 旧暦七夕

私たちは「すべての人に星空を」をコンセプトに、ふだん星を見るのが難しい
病気や障害を持つ子どもたちやその家族に星を届ける

「病院がプラネタリウム」というプロジェクトを10年行ってきました。

そして、「本物の星空を見たい!」という願いに多く出会ってきました。

「一緒に星を見ようよ」と誘われたら、一歩が踏み出せる。自然や人と触れ合えば、明日のエネルギーに変わる。

星との対話は、自分と今を見つめる時間。

星を介してともに幸せをつくろう。「星つむぐ家」は、幾千の願いをかなえる、みんなの夢です。



一般社団法人 **星つむぎの村**

409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸 6587-2

0551-88-9027

e-mail info@hoshitsumugi.org

H P <https://hoshitsumugi.org>





完成予想図（外観）

完成予想図（室内）

バギーや車椅子で段差なく大きなウッドデッキに出て、星を見上げられます。家族団らんのできる畳の小あがりスペースも。

星つむぎの村人みんなで定期ミーティング。どんな家にしてほしいか、「誰かの便利はみんなの便利」という視点で、いろいろ話し合ってきました。



★「おいで!まってるよ!」があれば

重心児の息子のケアには「絶え間」がない。

生まれてから3年ほど、息子を死なせないように、家庭がまわるように「安全で安心できる生活様式」を必死で追及してたどり着いた先は、「どこにも行かず何もしない」ということだった。ようやくできあがった車いすで出かけられるところは病院しかなかった。

星つむぎの村と出会ったのは、そんなときだった。

星つむぎの村は、私たちの唯一の居場所だった病院に、プラネタリウムを届けてくれた。

そこでは、みんなが星に包まれるかけがえのないのちだった。

「寝たきり」は、星を見るための姿だったのかと分かったら、息子のすべてが「それでいい」と確信できた。

そのとき子どもたちと一緒に寝転がって見た星空はあまりにも優しく、隣で寝転がってるわが子の命はあまりにも愛おしくて。

だから、どうしても本物の星が見てみたくなった。

そして、どうしても、「星つむぎの村」にもう一度会いたくなった。

どうやったらいけるのか、必死で考えて準備をして、勇気を出して家を出た。息子が生まれて初めての家族旅行だった。

それをきっかけに、我が家はいろんなところに出かけるようになった。「絶え間ないケア」がある限り、旅行は「非日常」にはならないし、むしろ大変なことも多い。「どうしても行きたい!」と思うアクセルを踏むにはとても大きな馬力と勇気が必要で、その勇気はほんの些細なバリアで崩れてしまう。

「おいで!まってるよ!」と背中を押してもらえたら、勇気を出して一歩踏み出したその先に満天の星とあたたかい仲間が待っていてくれたら、その勇気と馬力はきっと、ふたたび自分の力で社会とつながっていくための自信になる。そしてその自信はいつか、「おいでよ!」と誰かの背中を押すための力になる。そうやって「おいでよ」の力がこの社会にあふれかえったら、誰もがどこへだって行けるような気がする。

私も、誰かのはじめの一歩を「おいでよ!」と迎えるひとりになりたい。

そして一緒に星を見上げたい。

藤田優子（村人）



★星つむぎ家ってこんなところ!★



リターンについて

宿泊券もしくは宿泊割引券ほか、星つむぎの村人の想いのこもったアート作品や手作りの品をご用意しています。応援、よろしくお願いします!